



議員活動誌 パソコン版も合わせてご覧ください → 検索サイトで「やまさきゆうじ 京丹波町」ご検索ください
日々の議員活動をブログで綴っています ☆ 訪問者数 累計166万UU-毎月 約1万5000人 累計510万PV

12月議会（令和5年第4回定例会）は、12月5日（火）から12月19日（火）までの15日間、開かれ、各種委員の選任、職員の給与・手当の改正、常勤特別職および議会議員の期末手当の改正、共同作業所送迎車両の更新に152万9千円、京丹波味夢の里の水漏れ修繕に187万円、給食費支援による保護者負担の軽減に計560万円ほか一般会計補正予算など計10補正予算案などを審議しました。なお、審議の概要および議決結果は「議会だより」をご覧ください。

一般質問

◎12月議会では12人が一般質問を行いました。◎本紙面では、私の一般質問に関して、詳細にふれていきます。

▼危険木伐採のための補助金制度の創設を

山崎裕二 町における道路等への倒木の発生状況と原因は、**課長** 比較的小規模な倒木が年間5件程度、発生しており、多くの原因は枯損木です。また、異常気象時には、成長した木の枝・幹の折れや木が完全に転倒する根返りが多く発生しています。

山崎裕二 道路等への倒木が発生した場合、町民のみなさんの生活にどのような影響が及ぶと認識しているか。
課長 通行に支障となるだけでなく、場合によっては、歩行者や通行車両の事故に繋がる恐れがあると考えています。
山崎裕二 区や自治会などから、気象害、枯損または過度な成長などにより、倒木の危険性が高い樹木で、倒木等により、家屋、道路・河川を

む公共施設に影響を及ぼす恐れのある樹木（以下、危険木）の伐採に関して、相談や要望があったことは。
課長 件数のばらつきはあるが、毎年、要望や相談を受けています。

山崎裕二 町における森林環境と税の使途として、特徴的なものを挙げると。
課長 森林環境教育に係る指導者などの人材育成、天然林整備や間伐材の搬出などに係る補助事業を実施しています。

山崎裕二 本年度、森林環境譲与税を財源として、新規に実施した事業はあるか。
課長 間伐施業の促進および森林資源の循環利用を促進させることのほか、林地残材の発生防止を図るために、間伐材活用支援事業補助金を創設し、町内の林地で伐採・搬出された間伐材の搬入経費に対する補助を行っています。

山崎裕二 来年度の森林環境譲与税額の見込みは。
課長 全国の市町村配分を540億円のままとし、本年度と同じ値で試算した場合、現時点では、約4576万円となる見込みです。
【追記】税制改正大綱をもとに試算した場合→約4925万円

山崎裕二 森林環境譲与税基金の残高は、昨年度末時点での4506万6千円となつていますが、この点についての評価と今後の基金活用の方性は。
課長 森林経営管理制度を進めている委託費に使用するとともに、将来的に必要と見込まれる公的な森林整備を実施する財源として活用する予定

山崎裕二 森林環境譲与税および森林環境譲与税基金を財源とし、多くの市町村で交付されている危険木伐採に係る補助金制度などを糸口として、町の実態をふまえた上で、危険木の未然伐採作業等に対し、経費の一部を補助する制度を創設し、町民のみなさんの将来にわたる安全な生活を願うべくではないか。



町長 府庁へ出向き、関係部長と意見交換をさせていただくなかで、未然の防御措置を講じるべきと提案したところ、副知事や部長も同じ認識でした。その後、府では、事前伐採による防災・減災対策の推進という方針を強く打ち出しています。そうした状況を勘案し、府の動向、あるいは、近隣市町の動向をふまえながら、検討を進めたいと考えています。

▼たんばこども園運動会 3・4・5歳児の一斉開催を

山崎裕二 9月30日、みずほこども園、わちこども園では、3・4・5歳児一斉の運動会が、たんばこども園では、4・5歳児の運動会が行われた。たんばこども園の3歳児の運動会は別日の10月5日となっており、保護者の方から、戸惑いの声が寄せられた。複数の保護者の方から、園庭の広さが一因であるならば、別会場での開催ができないかとの相談もあったと聞か、それに対して、どのような回答を行ったのか。

町長 子どもたちのことを第一に考えて、いつもと違う場所での運動会よりも、慣れた環境の方が、力を精一杯、発揮できるのではないかと、そして、いつもの場所での自信をもって、がんばっている姿を保護者の方に見ていただきたいと考えて、別会場ではなく、こども園で開催することが、

子どもたちにとって、最もいい方法ではと回答したと聞いていますし、園長を中心に、保護者の方々と十分に話し合いをしたうえで得た結論で実施したとも聞いています。
山崎裕二 別日での開催とするに際して、3歳児の集中力への配慮も一因にあったとすれば、相対して、運動会を一緒に体験・共有することによって、年上の園児に対する憧れの気持ち、さらには、自己肯定感の高まりといった点については、どのように勘案したのか。

課長 違う年齢の園児同士が相互に関わり合って、活動することの意義は大きいと考えていますが、日常の園生活のなかで、子どもたちの学びを援助しつづけることが重要と考え、日々の取り組みのなかで、憧れの気持ちや思いやりの気持ちが育まれるよう努めています。

山崎裕二 昨年度、たんばこども園の運動会は、3・4・5歳児一斉の開催だった。本年度、別日とした要因を改めて洗い出し、それらをひとつひとつクリアしていくことによって、来年度以降、一緒に運動会ができるようにと強く願うが、所見は。

課長 須知幼稚園と上豊田保育園がひとつになったことや新たな園舎での生活など、運営や行事などについては、保護者の意見、感想などをふま

【裏面もご覧ください】

【表面もご覧下さい】

えて、子どもたちを第一に考えて、見直しを行いながら運営しています。昨年度、今年度の成果などもふまえ、来年度に繋げていき、子どもたちにとって、最高の運動会となるよう努めます。

▼長期休業中の学童保育での昼食提供を

山崎裕二 長期休業中の学童保育において、可及的速やかに、希望者への昼食提供が可能となるよう、事業者などと連携した具体的な取り組みを進めていくべきでは。

教育長 時間延長、負担金の課題などの改善に向けて、先進地の状況把握など、調査研究を進めてきました。昼食の提供を実施しているという事例もありましたので、それらを参考にしながら、研究を進めていきたいと考えています。

▼生ごみ処理機器への助成額の引き上げを

山崎裕二 2019（H31）R元）年度から、船井郡衛生管理組合では、最終処分を含むごみ処理を域外施設へ依存している状況であり、とりわけ、可燃ごみの少なからぬ部分を占めている生ごみのいっそうの削減は喫緊の課題と考量する。

かかる状況などを鑑み、現行において、生ごみ堆肥化処理機

理機 1世帯1基以内で1万円、生ごみ堆肥化容器1世帯2基以内で2千円を限度としている町生ごみ堆肥化処理機器等購入助成金について、改めて、助成上限額の引き上げおよび助成率の設定などを組上に載せていくべきでは。

課長 ごみは、人々の生活と密接に関係しています。日々発生するものでもあり、その処理には多額の費用がかかっています。生ごみの減量化は、家庭でもできることから、昨今の状況を鑑み、ご質問のような趣旨での要綱改正に向けて準備を進めています。

▼タウンプロモーションの機動的展開を

山崎裕二 9月24日、瑞穂ゴルフクラブにて、関西初のゴルフ場での店舗型ふるさと納税の導入が始まった。反響、感想や評判などは。



なぜGREEN GREENなのか？

京丹波の緑大な自然からインスピレーションを得た GREEN =自然、健康、成長、新鮮さ、前向きな姿勢 GREEN GREEN GREENの意味を強調し、様々なGREENが存在する多様性と、こだまのように共鳴していくことを表現。



山崎裕二 10月13日、タウンプロモーションの方針の発表があった。町民のみなさんに向けて、発信したい点は。

課長 緑豊かな町を象徴するキーワードであるGREEN GREEN、緑の波線が印象的なプロモーションロゴなどの発表を行いました。今後は町民のみなさんやプロモーションに関わっていただく多様な主体と一体となり、町の多面的な価値と魅力を外部に発信していきたいと考えており、いっそうの取り組みを進めていきます。

山崎裕二 町内残り2つのゴルフ場においても、店舗型ふるさと納税の展開ができれば、さらなる相乗効果が期待できる。導入に向けた交渉を。

課長 町内全てのゴルフ場での導入は面的効果が働くと考えており、さらなる相乗効果に繋がると推し量ります。負担も認識いただいたうえで、1店舗ずつ導入交渉を慎重に行い、WinWinの関係構築していきます。

山崎裕二 町と同じ店舗型ふるさと納税のシステムを導入している茨城県つくばみらい市では、毎週末、各ゴルフ場に特設ブースを設置し、周知を行い、開始約5か月で5千万円以上の寄附を集めるなど、大きな成果を上げているとのことである。運営会社を通じて、同市の手法、スキームなどを共有し、町のファンを増やすにあたっての機会損失とならないよう、同様の手立てを積み重ねていくべきでは。

課長 直接、情報共有をいただいております。運用方法の検討を行ってまいりました。随時、日程調整を行い、本課の関係職員が直接会場に駐在し、プロモーション活動を行ってまいります。限られた人員ではありませんが、ファン獲得への機会損失にならないように、さらに認知拡大に向けて、取り組んでいきます。

山崎裕二 11月末まで行われたレストランやホテルでのフェアは、町の食文化の発信にも大きく寄与したと察する。その他、両フェアを通じて、どのようなパフォーマンスが創出できたと考えているか。

山崎裕二 各種事業における同協会の主体性や関わりについての見解やジャッジは。

町長 町の観光団体として、町への着地型観光や食の町推進などの需要獲得に期待しており、今後も密接な連携を図りながら、観光需要獲得に向けた取り組みを進めていくことが、たいへん大事であると思っております。

山崎裕二 町においても、別途Webマーケティングを専門とする業者とパートナーシップを構築していくべきでは。

部長 地域の人材資源の活用や育成の観点から、地域商社でのマーケティング人材の活用を検討しつつ、町にとつて、より有効な手段を検討していきたいと考えています。

山崎裕二 町の掲げるデザイン思考および来年度以降のプロモーション戦略の一体的、有機的、機動的な遂行を標榜し、同協会との関係性をゼロベースで見直すべきでは。

部長 現在、観光案内やロケーションオフィス業務、地域商社業務について、委託、補助により、運営いただいているところでは。その内容や経費の算定などは、随時検証を行い、効果分析により、見直しを進めているところです。

山崎裕二 他課を横断した町全体のプロモーションを統括マネジメントしていく組織体制を構築すべきでは。

副町長 プロモーション戦略室が先頭に立ち、各課等の横断的な連携を主導しています。プロモーション戦略は、多岐にわたりますので、商工観光課だけではなしに、各種方面での展開が必要と思っております。プロモーション戦略室が中心となったマネジメントを考えていきます。

山崎裕二 町において、別途Webマーケティングを専門とする業者とパートナーシップを構築していくべきでは。部長 地域の人材資源の活用や育成の観点から、地域商社でのマーケティング人材の活用を検討しつつ、町にとつて、より有効な手段を検討していきたいと考えています。

【最後までお読みいただき、ありがとうございました】